



## 第 1197 回例会報告

平成 22 年 10 月 28 日(木) 晴れ

### 会長挨拶

会長 長崎政直

#### 日本道徳論

半月ほど前、御子柴幹事に、おもしろい本を見つけたと見せたところ、ざっと目を通して、フンと笑われました。おおよそ明治時代にできた道徳論は、行きつく先が決まっているという風な「フン」でした。ちょっと、私の興奮も萎えたのですが、挨拶に行き詰っているこのごろ、少し話してみようと思います。

江戸から明治にかけての教育家、思想家に、西村茂樹という方がいました。東京修身学舎というのを明治9年(1876年)に創設し、明治20年(1887年)には、「日本道徳論」を発表しています。その本を、「国家の品格」でベストセラーになった藤原正彦氏が、「百年前の道徳論が、今とても新鮮だ。驚くべきことである。悲しむべきことである。ここには日本人が忘れてしまった〈大切な生き方〉がある」と絶賛しているのです。

この道徳論で言っていることが、ロータリークラブで、ロータリーの存在意義として良く言われていることに、極めて良く似ているのです。

ロータリークラブの創立は、1905年、日本で創立が1920年ですから、それより20年前に言っているのです。

**道徳とは何か** 道徳とは、①わが身を善くし②我が家を善くし③我が郷里を善くし④我が本国を善くし⑤他国の人民を善くするものである。

そのために**六戒**【①嘘をついてはならない②酒を飲みすぎてはならない③度を越えて欲望に耽ってはならない④過度に怒ってはならない⑤欲深くてはならない⑥おごりたかぶり、人を見下してはならない】を守り、**五善**【①誠実であること②偏らず、えこひいきをしないこと③我慢強いこと④意思が強く物事に屈しないこと⑤いつくしみ深こと】をなすことである。

**道徳会**：道徳とは何かを知り、その道徳を行う

会である。国民を教化するする場合の五つの要点は【①妄論、すなわち根拠のないでたらめな論説を打破すること②卑しい風俗を正す③危害から身を守る方法を立てる④善い行いを勧める⑤国民の品格を造る】である。

#### 協会設立の意義

・・・、ただ一つ、道徳学だけは、どの学問にも、どの職業にも適応しないものはない。たとえていえば、道徳は堅固な基礎のようなものである。その上に宮殿も建つし、神社仏閣、气象台、灯台も建つであろう。また道徳は良質な土地のようなものである。その上に五穀も実り、樹木も成長するであろう。それゆえ道徳学は、どのような学術を修める者にも、いかなる職業に就く者にも、少しも本業の妨げになることはない。ただ支障をきたさないだけでなく、どんな学術や職業も、道徳を根拠として従事するなら、みな安全堅固となり、同時にその職業や学術の品位品格を高めることができるであろう。

#### 道徳会設立の利点

- その1 多くの友人を得ることができる
- その2 知識を交換するのに便利
- その3 善事の実行が容易になる
- その4 名を挙げやすい
- その5 善良な風俗を造る
- その6 国民の心を一つにする
- その他 皇室の尊崇 知の必要性

#### ■ニコニコBOX

24名	28,000円
累計	481,000円
目標額	130万円
達成率	37.0%

#### ■今週のことば

明日 29 日長野県更生保護大会で大会長を務めます。心の中で応援してください。あつかましいコメントで失礼します。 小林聖仁

#### ■出席報告

会員数	35名
出席対象	35名
出席者数	27名
出席率	77.1%
前回修正	85.7%

#### ■次回のプログラム

11月18日  
公式訪問例会  
12時開会です



さて、日本のロータリーの創始者、福島喜三次さん、米山梅吉さん、この存在を知っていて選択しなかったのか、そうだとすれば、どうしてなのか、それとも知らなかったのか、・・小林強さんに調べていただけたらと思っています。尚、レターボックスに抜粋を入れておきました。興味のある方は、お読みいただけたらと願っています。

### ◇幹事報告◇

1.以下の文書を受領いたしました。

①ウィークリー(諏訪 RC)を受領しました。

2.連絡事項

①11月6日～7日 RI2600 地区大会は乗用車の分乗にて参加致します。分乗詳細を本日配布致しました。旅程は次回例会に配布致します。

②岩村会員が菊の鉢を例会場に飾って下さいました。会場の雰囲気明るくなり感謝申し上げます。

## 1197例会

### 「ガバナー補佐事前訪問例会」

11月11日のガバナーの公式訪問に先立ち、諏訪グループガバナー補佐岡谷エコーロータリークラブ所属の小口政博さんと同事務局幹事、高橋政幸さんが、例会にお見えになり、卓話を頂きました。

ロータリーの例会は、人間修行の場であり、会員の親睦の場で在ること、綿貫ガバナーの紹介、ガバナー補佐自身の紹介、他クラブ訪問時の出会い、特に東京クラブでの出会い等のロータリークラブの魅力についてお話されました。

ロータリークラブを格別すばらしいと思ったこともないが、止めたいと思ったことも一度もない。ロータリーを楽しもう等々、肩肘張らない穏やかな人間性を垣間見せていただきました。

### ガバナー補佐との事前懇談会

小口ガバナー補佐・高橋ガバナー補佐幹事並びに当会の会長・幹事出席にて懇談会が例会に先立ち実施されました。

ガバナー補佐は事前に当会の事業等を調査されており、短時間でしたが充実した懇談となりました。

### ガバナー補佐を迎えてのクラブ協議会

例会後 クラブ役員・委員長もしくは副委員長出席にて 高山副幹事司会により各委員会の事業状況説明と意見交換を行ないました。



席上発表意見の要旨

#### \*クラブ奉仕委員会

岡谷エコーロータリークラブは、同好会が多いとお聞きいたしておりますが、その内容とクラブ運営とのかかわりをお聞きしましたところ、同好会活動がクラブ活動に良い影響を与えていると感じました。

#### \*新世代活動委員会

青少年の健全な育成を応援し交流を深めることを基本に活動していきたいと考えています。夜間例会でライラ時の検証と青年たちとの交流を実施する方向で活動しています。

#### \*国際奉仕委員会

他クラブの国際奉仕の状況とガバナー補佐の見解を質問したところ、岡谷エコークラブの取り組みについての説明がなされた。

エコークラブでは、JICAを通じてネパールに学校建設、産業振興銀行に出資に出資等を行っており事業管理及び資金管理はJICAが中心となっており行っているとの発表があった。

またガバナー補佐は、後進国（特に東南アジア）の人たちは裕福な人が貧しい人たちに奉仕する事が『あたりまえ』と考えている感が強いと言う私見も述べられていた。

今後、当クラブでも他クラブの手法を参考にしつつ長期プロジェクトの企画立案を進めて行いたい。青少年の健全な育成を応援し交流を深めることを基本に活動していきたいと考えています。

